

氏名	山 根 享
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第2924号
学位授与の日付	平成7年 9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Ethane dimethanesulphonate(EDS)のラット精巣障害に対するTestosteroneの防御的役割に関する研究
論文審査委員	教授 工藤 尚文 教授 太田 善介 教授 産賀 敏彦

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

特発性男性不妊症の病因の一部を解明する目的でラットLeydig細胞を破壊し内因性testosterone(T)の欠乏による精細管障害を惹起させるEDSに対して、T microcrystal suspension(Tmcs)を種々の濃度・時期で精巣内投与し、その防御作用について組織学的、内分泌学的に検討を行なった。さらに内因性Tを抑制するT propionate(TP)の全身投与についても比較検討した。

その結果、Tmcs精巣内注入による精巣障害、血中ホルモン濃度への影響は認めず、さらにEDS投与前に注入した群では、精細管内T濃度の上昇を示すとともにEDS精巣障害に対する防御的効果が認められ、造精機能にTが重要な因子の一つであり精細管内T濃度は50 ng/g. t. w. 必要であることが示唆された。一方TPをEDS投与前に注射すると、精細管内Tは著明に抑制されるにもかかわらず防御的効果を示した。これは全身投与されたTが間脳下垂体系抑制前にある程度精巣に移行し、paracrineに精子形成調節因子を刺激したことが推察され、精子形成には多数の因子が関与していることが示唆された。

### 論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は精巣間質のLeydig細胞を選択的に破壊し造精機能障害を引き起こすEtane dimethanesulphonate(EDS)をラットに投与し、EDS投与前後にテストステロンの全身投与あるいは精巣内に局所投与することにより造精機能障害を防御することを証明した価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。